

「家族社会学パネル研究会」のご案内

「家族社会学パネル研究会」は、家族社会学におけるパネルデータの活用について広く考えるための研究会です。パネルデータを用いた実証研究を行うとともに、その方法論的な議論について家族研究者間の交流を深めることを目的としています。この研究会は、2009年から活動してきた「NFRJ-08 パネル研究会」を引き継ぐもので、NFRJ 委員会との連携のもと、50名程度のメンバーで活動中です（2015年3月現在）。

活動内容を広げるにあたり、新たに研究会に参加される方を募集します。日本家族社会学会の会員であれば、どなたでも参加できますので、ご関心をお持ちの方はNFRJ 委員会事務局までお問い合わせください。

研究会代表 保田時男（関西大学社会学部）

tyasuda@zf7.so-net.ne.jp

NFRJ 委員会事務局 田中慶子（家計経済研究所）

office@nfrj.org

■活動期間

2014～2017年度

（活動資金：科研基盤(B)「パネルデータによる家族社会学研究のための基盤整備」）

■活動内容

・研究会合

年に3回程度の研究会合を開き、研究会メンバーによる研究報告、議論を行います。報告内容の例：パネルデータによる分析報告（NFRJ-08Panel 以外も含む）、パネルデータの分析技法の検討、質的調査とパネル調査の連携方法の検討、過去のパネル研究の再評価、他分野でのパネル分析の紹介など。他に、分析ソフト・技法の講習会など。

・NFRJ-08Panel の分析

研究会のメンバーは、NFRJ-08Panel の個票データを利用できます。全5時点の実査・データ整備が完了しています。（実行委員長：西野理子（東洋大学））

※研究会への入会申請に加えて、データの学会内共同利用の申請が必要です。



・回顧調査の試み

NFRJ-08Panel に近い内容のデータ収集を回顧調査で試みる実験的調査を実施します（小規模の地域調査で、2016年春に郵送で実施予定）。調査設計の議論への参加は歓迎します。実査やデータ整備等の作業を無償負担いただく予定はありません。

・義務

個人での分析研究の進行、論文投稿等は積極的に行ってください。とくに、科研費による何らかの支出（旅費等）を受けた方は、活動期間中に少なくとも一回は研究報告を行なっていただくことをお願いします。

■大学院生の方へ

本研究会は、大学院生の方の参加も大いに歓迎します。ただし、学位論文の執筆等に支障がないか、指導教員と事前によくご相談いただき、許可を得てください（入会用紙に指導教員のサインか捺印が必要です）。